

## II. 事業の概要等

### 1. 事業の概要

#### (1) 教育環境整備

- ① 6年制薬学教育が完成したことにより、教育カリキュラムの見直しを行った。
- ② 国家試験対策委員会のもと、新薬剤師国家試験の成績向上を目指し、新卒者 263 名が受験し 259 名が合格した。合格率は、98.48%と好成績を収めた。
- ③ 薬学教育 6 年制第 1 期生の 6 年次生に対して、就職ガイダンス、学内就職フェア、「親子で学ぶ就活セミナー」等を開催し、就職支援の強化に努め、就職率 98.8%であった。
- ④ 教育の国際化に向け、昭和ボストン大学との覚書に基づく海外薬学研修プログラムを単位化し、内容の充実に努めた。
- ⑤ 優秀な学生を入学させるために入試制度を検証し、中期試験受験科目を生物と化学の選択制に変更した。その結果、今年度の出願者数は昨年度比 25%増加し 2,582 名となった。

#### (2) 研究推進事業

- ① 平成 22 年度学術研究振興資金に採択された 3 年継続事業の「糖鎖の修飾による動脈硬化進展機序の解明と新規治療法の開発」の研究プロジェクトを引続き実施した。
- ② 私立大学等経常費補助金（特別補助）の大学間連携等による共同研究に 15 件申請し、採択された。

#### (3) 学外連携の推進

平成 21 年度に採択された文部科学省「大学教育充実のための戦略的学外連携支援プログラム」に基づき、神戸大学との連携事業を推進した。

##### ① 共同研究・教育開発システムの検討

神戸薬科大学、神戸大学医学部医学科・保健学科との合同実施科目の初期体験臨床実習と IPW 演習を実施した。

昨年度に引続き、本学大学院薬学研究科と神戸大学大学院医学研究科が相互の学生交流と共同研究を遂行した。

大学院薬学研究科博士課程（4 年制）の平成 24 年 4 月開設に向け、博士課程科目の共同開発を行った。

##### ② 薬剤師レジデントの運営

1 年目の薬剤師レジデントは、神戸大学医学部附属病院で研修を行った。2 年目の薬剤師レジデントは、神戸薬科大学の実務実習事前教育と神戸大学医学部附属病院での病院実習の指導補助を行った。また、8 月にアメリカ・カリフォルニア大学サンフランシスコ校（UCSF）で海外研修を、2 月に 2 年間の修了報告会と修了認定を行った。3 月には神戸市立医療センター中央市民病院を会場に第 1 回「薬剤師レジデント交流会ー明日への夢をつなごうー」を神戸市立医療センター中央市民病院薬剤部、兵庫医科大学病院薬剤部と共催した。

##### ③ 医療生涯研修支援プログラムの検討

第 2・3 回 Student CASP Workshop in Kobe を開催した。

平成 21 年度導入の講義収録配信システムにより、神戸薬科大学大学院講義や、神戸大学医学部の講義を収録し神戸薬科大学内へ配信した。また、平成 22 年度導入の eラーニングシステム用教材として、ネイティブスピーカーによる英語音声収録した「薬剤師向け英語コンテンツ（初級編・続編）」を作成し、学生、教職員に公開するとともに、神戸大学医学部附属病院薬剤部にも公開した。

④FD・SDの検討

医薬品に関する危機管理の合同研修を両大学教職員、神戸大学医学部附属病院医療従事者を対象に神戸大学医学部附属病院にて10月と11月に開催した。また、2月にはFD・SD研修ワークショップを開催した。

⑤医学薬学専門部会による最終年度の平成23年度連携取組報告会を開催し、終了後には各WGによる自己点検・自己評価をもとに外部評価委員会を開催した。

⑥3年間の連携取組事業の成果と今後の展開について総括した最終年度報告書を作成し、医薬系学部のある大学や地域の薬剤師会等へ送付し広報に努めた。

(4) 職員研修の実施

1月に大学院FD研修として講演会を開催し、大学全体の教育能力の向上と教育支援体制の強化に努めた。

(5) 学生サービスの向上

学生の通学の利便を図るため、大学近辺に自転車置場を確保(150台駐輪可)し、4月から使用を開始した。

(6) 施設設備

平成24年度に迎える創立80周年の記念事業として6号館(体育館・食堂等)の建替え建築工事の地鎮祭を1月に行い、建築を開始した。

以上